



美都



2年生がまち探検第2弾 御馬の海へ

野外活動へ行ってきました 5年 大自然を大冒険～仲間と最高の思い出を～

6月10日（月）・11日（火）の2日間、5年生が設楽町段戸にある「きららの里」へ、1泊2日の野外活動へ行ってきました。

まず、玄関前で出発式を行いました。「スローガンにある『仲間と最高の思い出を』をつくるために、『誰かが何かをやってくれるわけではなく、自分は何をしたらよいのかよく考えて行動すること』、『後ろ向きな言葉や仲間を悪く言う言葉を言わないこと』、『自分の安全・自分の命は自分で守ること、そして周りの人の安全も考えること』を意識しようと、校長先生と約束しました。2日間が、みんなでつくる野外活動になることを期待し出発しました。

バスは高速道路を降りると、深い山道に入りました。きれいな川と深い森が見え始めると、子どもたちはワクワクし始めました。バスの窓からシカが見え、子どもたちの興奮は最高潮でした。山道をしばらく走ると、きららの里に着きました。班ごとに弁当を仲良く食べた後、いよいよ入村式です。校旗を掲げ、きららの里の管理人の方の話を聞き、ログハウスに向かいました。自分のベッドを確認し、協力してシーツなどを敷きました。ログハウスでゆったりと過ごすことができ、みんなで日程の確認やスタンプの打ち合わせなどを行いました。

1日目の夕食はカレーライスです。食事係が担当しました。それぞれが自分の仕事をしっかりこなし、手際よく準備をすることができました。どの班もおいしいカレーができ上がり、みんな笑顔で、たくさん食べていました。片付けも、みんながてきぱき動いて、計画した時間よりずいぶん早く終わることができました。先生の指示を待つのではなく、周りの様子を見て声をかけながら、どんどん仕事を進めることができました。





キャンプファイヤーは、みんなでフォークダンスをしたり、クイズやゲームをしたり、ダンスをみんなで踊り合ったりしました。そして光の舞では、暗くなったファイヤー場にきれいな色の光が浮かび上がり、華麗な舞を披露してくれました。ファイヤーの周りで歌ったり踊ったり笑い合ったりして、楽しく心に残るひとときとなりました。

2日目は、朝の集いで始まりました。鳥のさえずりを聴きながら、ラジオ体操を行い、体を目覚めさせました。そして、ホットドックやヨーグルト、アップルジュースでエネルギー充電完了です。活動に入る前に、楽しく過ごした施設をみんなで一生懸命掃除しました。5年生の子たちの動きがとてもよく、ピカピカになりました。

2日目の主な活動は、木工クラフトと、きららの森での「森林教室」です。木工クラフトでは、ストラップを作成しました。「きららの里」にきた思い出にと、日付やスローガンを入れたり、飾りやきらきら光る雲母を張り付けたりしている子もいました。

きららの森散策では、森の先生から森の役割や、木の特徴などの話を聞きながら、森を歩きました。森の先生の話真剣に聞き、質問に答えたり、木に触ったり、木のおいのかいだりしながら、約1時間30分元気に歩き通すことができました。「へー」「すごい」「そーなんだ」と反応がとてもよく、ガイドさんは大喜びでした。

5年生の活動の様子を見ていて、感心することがたくさんありました。時間を意識して、次に何をするのか自分たちで考えて行動していたこと、ガイドさんや森の先生に気持ちのよいあいさつができたこと等いっぱいありますが、一番は、一人一人が前向きに、相手やまわりのことを考えて行動できたことです。「ぼくやる」「みんなでやろうよ」「ありがとう、助かる」というような前向きで、優しい言葉ばかり聞こえてきました。そうすることで、全体のあたたかさが増し、安心して生活することもできます。こうやって、普段の生活でも、一人一人が主役になれる5年生の雰囲気を作られているのだと改めて感じました。予報とは違い、雨は降りませんでした。もしかしたら、5年生の子たちのがんばりを見て、本当の山の神がごほうびをくれたのかもしれません。立派な野外活動でした。



全校で取り組もう 安全で思いやりのある登下校

通学団での登下校について、交通指導員や見守り隊、保護者、子どもたちからも様々な声が聞こえてきます。班がバラバラになっていたたり、高学年の子が他の班と一緒に歩いたり、並び順を変えたり、また、低学年や中学年の子が言うことを聞いてくれなかったりという班もあります。

学校では、一斉下校時に担当から全校に、そして、全学級で担任から、安全な登下校、高学年としての責任と自覚、相手を思うやさしさ等について指導をお願いしました。ぜひ、ご家庭でも、「班長の仕事しっかりできている?」「高学年としてちゃんと小さい子のお世話できている?」「お兄さんお姉さんの言うこと守っている?」と指導していただけるとありがたいです。通学団こそ、助け合い、支え合いの実践の場です。何ができるのか、どうすべきか、一人一人が考え、みんなで変わるよい機会にしたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。